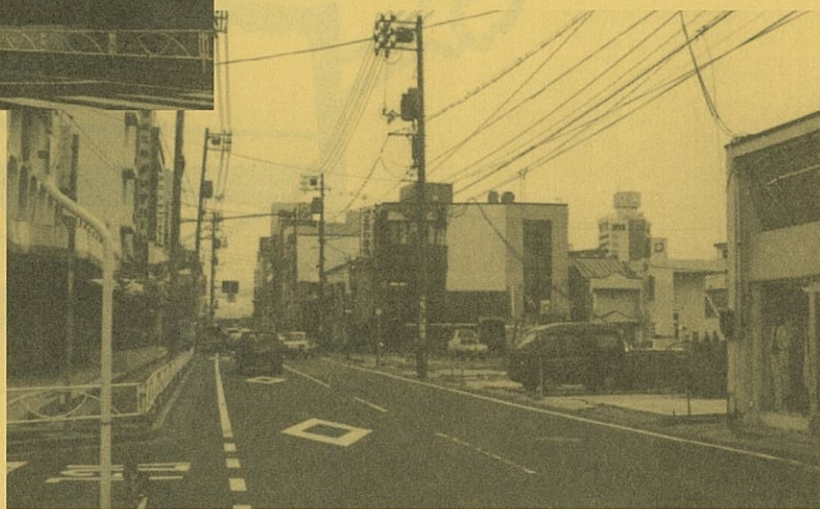
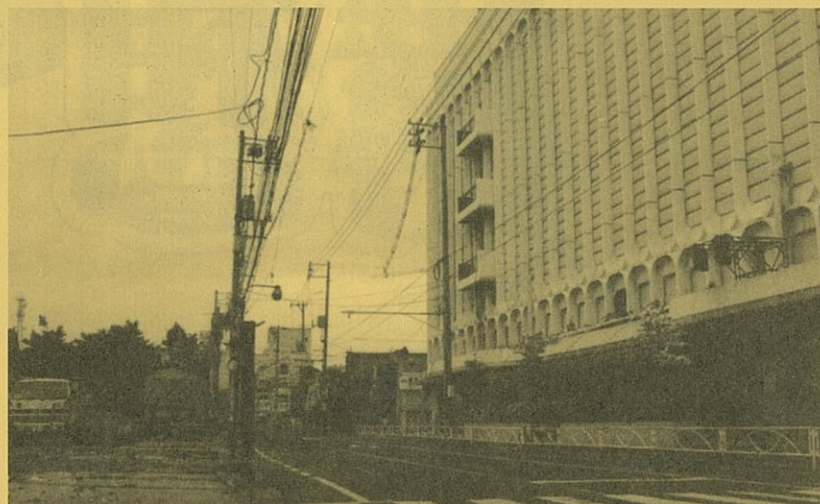


# 寺町界隈

わたしたちの町のわたしたちの情報誌。 新年度号 ■発行/寺町のまちづくりを考える会事務局TEL21-3461 ■MAY.1996 ■Volume16



## 土木建築事務所からのお知らせ

**今年度の計画(今後の計画)**  
 家屋移転補償 17軒程度  
 用地買収 340㎡程度  
 (工事着手 平成9年頃)

**工務に都市整備課が誕生**  
 四月から都市計画係が下水道係と共に都市整備課に拡充されました。工事を担当します。用地課は従来どおり用地第二係が、家屋移転補償、土地の売買契約などを担当します。

**担当者**  
 用地課長 梶谷 雅敏(新任)  
 宍道町出身です。一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。皆様のまちづくりに参加させていただきます。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

主幹(用地第二係長)八幡 為夫  
 引き続き担当します。佐田町生まれの松江市在住です。よりよいまちづくりのために皆さんのご協力を期待しています。

主事 山本 公治(新任)  
 この四月から配属になり、寺町南側を担当することになりました。よろしくお願ひします。

主事 安井 誠悟(新任)  
 寺町北側を担当させて頂きます。よろしくお願ひします。

都市整備課長 小村 裕司(新任)  
 平田市出身です。出雲市からマイカー出勤しています。松江土木は初めてです。休日は鍬を持って野菜作りをしています。素材(野菜)の甘さを味わっています。

都市計画係長 島田 真(新任)  
 大人の好奇心を満たしてくれる、たのしいまちづくりを期待します。石見人です。

技師 黒田 昭一(新規採用)  
 斐川町出身です。新人ですのでご指導ご協力お願ひします。

## 寺町界隈

わたしたちの町の情報誌。

### 新人です。よろしくお願ひします!



松尾 純一  
(松江市都市計画課勤務)

寺町のみなさん、はじめまして。当年とつての三十二歳の新人であります。この4月に「寺町のまちづくりを考える会」の一員にぐわえさせていただき、一員にくわえさせていただき、役所に勤めているのですが、4月1日付の人事異動で都市計画課に配属となり、「寺町のまちづくり」を考えていらつしやる方々と会う機会を与えていただきました。そこで、みなさんが真剣に「寺町のまちづくり」に取り組んでいらつしやる姿、その熱意に感動し、「硬直化した松江のまちづくりの起爆剤がここにはある」と思い、会の一員に加

えさせていただいた次第です。

先頃万代町周辺を、事務局長の錦織さんと歩きました。かつての賑わいが失われ、空店舗や一人暮らしのおじいさん、おばあさんの家が多いことに愕然としました。「松江の中心部が枯れていつている。一体今まで自分は、何を見ていたんだろう」と私の認識の浅さを恥ずかしく思いました。

寺町で青春の何ページかを刻んできました。高校生の時は、「やよい」で友人とラーメンを食べるのが最高の買い食い、二十歳の頃は、朝までここで飲んでたものでした。彼女にふられて、やけ酒したのもここで。大変お世話になった町です。「駅本通り商店会事務局」には、活気と安らぎのある寺町のまちづくりが絵やミニチュアで紹介されています。「えつ、こんなに変わるの!」と目を見張るほどですが、会のみなさんの話によれば、全て実現可能なものであるとのこと。みんなの知恵を結集し、執念と行動があれ



ば、いかなる問題も超えられると思ひます。私も微力ながら、新しい「まちづくり」に向けて頑張る決意です。自分にできることは、何でもさせていだきたいと思つております。

私事ですが、去年結婚し、今年の3月に長女が生まれました。我が子が高校生になれば、またこの寺町で、友人らと買い食いをし、友と遊び、青春を謳歌することでしょう。少々のわらさには目をつむって、我が子の成長を楽しみむ親でありたいと思つております。

そのためには、今なすべきことを、全力でやりきり、必ず成し遂げるとの挑戦の姿勢だけは忘れずに頑張りますので、新参者ですがよろしくお願ひいたします。

## 寺町便り

## 編集後記

### ○北寺町便り

4月21日、旧松江やよい北側の地区の方が御参集になり、まちづくりの会の2回目の会合を開かれました。代表は長崎敏明氏で、会員は16名。公営場外舟券売場に条件付きながら積極的に賛成し、独自のまちづくり案を提案すること、全員一致の賛成を決議されました。

### ○中寺町(万代町)便り

4月17日、まちづくり協定の説明会をしました。町内会長、町内会総務委員さんに、御説明、御承認いただいた後、開催しました。今後、個々に御説明に上がり、まちづくり協定の締結にすすみます。

### ○南寺町便り

新体制の役員が未決定です。4月25日、若手有志の役員さんを中心の説明会をしました。御出席の方の御理解は得られたと確信しております。

中村 明経

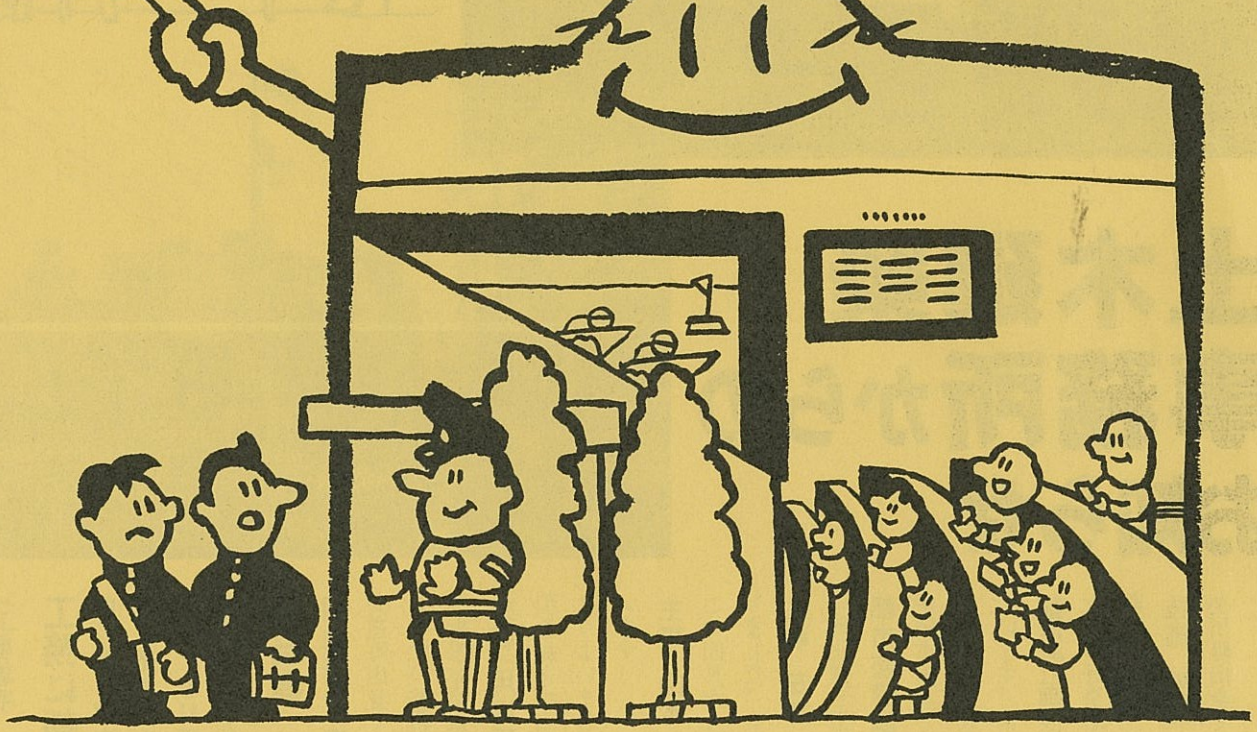
寺町のまちづくりを考える会も活動を始め、早や3カ年が経過し、県道拡幅事業については、家屋の立退き・取壊しも始まり、徐々にその姿を表わしてきました。

物というのは建物も一緒ですが作る時にはたくさんの人々の知恵と能力そしてエネルギーが必要とします。しかし壊す時は、いかに堅牢な建物でも現在の機械力をもってすればいとも簡単に取壊されてしまいます。

私達が目標とするまちづくりとは、みんなが住んで商売したいと思う街、二〇〜三〇年後どんなに機械力が発達しても、壊したくないと思う街、一人一人の能力には限りがあるにしても、まちづくりに参加したみんなの知恵が生きている街、そんな街作りが出来たらいいなと思つていま



# なぜなに 寺町ボートピア構想



今回、集客核施設の一部には「公営場外舟券売場」の設置が計画されています。

この施設について、一般的に「なじみが薄いので、シリーズでご説明します。」

◎「公営場外舟券売場とは」  
一言で言ってしまうと、現在、公営のモーターボートの競争場を運営している自治体（仮りにA市とします。）が、別の都市へ進出して、勝舟投票券（通称、舟券）を発売する施設です。施設の中では、大型のスクリーンが設置され、A市で行なわれている競技の様子が同時中継されます。舟券を買った人は、それを見ながら、実際の競技場での視線を疑似体験しながら楽しんでいただきます。

イメージ的には、劇場（映画館）とゲームセンターを併せたようなものと言うと、多少おわかりいただけるかもしれません。お客様は、何ヶ所か視察した限りでは、パチンコ屋さんでお見受けするような方が多く、年代的にも御高齢の男性が中心です。

また、通常の場合、売店、食堂、駐車場、駐輪場等が施設の内外に併設されます。（但、姫

### ◎「県内の各地で反対運動があったとききますが」

確かに、その通りです。しかし、結論を出すにあたって、正しく理解されていたかは疑問です。事実、松江市議会や、白濁地区の方を中心に何度も視察された結果では、強い反対意見はほとんどありませんでした。ちなみに、浜田市では、地元自治会の同意、市長の同意を得ておられます。但し、各種事情から現実の施設設置には至らなかったようです。

### ◎「経済的效果はあるのですか？」

①施設自体の建設、運営場の経済的投資。  
②公務員に準ずる多数の安定雇用。（特に、女性や身障者の社会進出をうながします。）  
③一日平均一〇〇〇～一五〇〇人（見込み）の集客による飲食・駐車場等の利用。

④松江市に対する交付金（自主財源）の増加。一八〇日の開催の場合、試算すると年間一億円余りとされます。これは、今の松江市で三〇〇〇人分の市民税の増加に当たります。

### れませんか？」

開催日当日は、早朝から最終レース終了後まで、周辺地域を多数の清掃員が清掃いたします。過去、何ヶ所かの視察においても、そういう指摘は全くありません。むしろ、以前より、街がきれいになったとの指摘がなされます。

### ◎「暴力団等の出入りが、心配です。」

まず、本施設と暴力団との関連性を指摘された方がおられましたが、全くの事実無根の噂です。くり返しますが、自治体が、国の認可する施設ですので、絶対にあり得ません。

また、俗に言うところの「ノミ屋」が、一部の施設の周辺に出没していたようですが、施行者、警察等の取締りで、現在は見当りません。

### ◎「青少年に与える影響が心配です。」

一部のPTAの方を中心に、特に御心配いただいているようです。しかし、松江の場合、施設は完全に専用の出入口が設けられ、外部からは中の様子は見えないようにします。もちろん、入場時には、未成年者に対するチェックも行なわれます。また、

託児スペースも作る予定です。で、子供連れの方でも、安心して舟券や買物の楽しめる建物になるよう留意しています。ちなみに、呉市の場合には、「洋服の青山」、「パチンコ店」、「ボーリング場」、「飲食街」、「カラオケボックス」、「ホテル」等も併設され、色々なお客様が建物の中を出入りしておられますが、違和感はありません。警備員も「松江サテイ」程度ですが、小学生のみのグループも自然に出入りしています。

私たちは、子供の健全育成と環境は必ずしも直接の関連は乏しいと信じています。むしろ、親である我々の日々の生活や、適確な価値判断を下すことの方が大切と思っております。また、平田市湖遊館をはじめ、県内各地の多数の福祉・体育・文教施設の建設に、モーターボート競技の収益が当てられています。松江市でも、海洋センター、日赤血液センター、社会福祉センター等が上げられます。もしも、この施設が本場にその地区に悪い影響を及ぼすのなら、福祉・教育関係の方々が、積極的に資金援助を求められるはずはないと思います。

路市の場合、駅の近くの為、駐車場はありません。）

### ◎「どの位の期間開催されるのですか？」

A市で行なわれる競技は、最大年間一八〇日です。しかし場外券所では、複数の自治体の競技を、重複しないように組み合わせることで、それ以上の開催日を可能にします。ちなみに、姫路市では二五〇日間の開催です。

### ◎「松江市のような地方都市で可能ですか？」

確かに、松江市のみの人口では、施設の安定的な運営に不安があります。しかし、三〇km圏内の周辺人口、公営ギャンブル施設の数、その他のデータを検討した場合、有望な地域であるとの説も有力です。もちろん、地元地域の同意と進出要請があることも、各種データの分析の結果、施行者側より断られるケースも過去にあった旨も伺っています。

### ◎「どの位のお金で入場できますか？」

一般入場は無料です。通常は、一般席以外に有料席（特別席）を設けるケースが多いようですが、飲物のサービスと専用席と

で一五〇〇円位（十二レース貸切り）でしょうか。舟券は一〇〇円単位で発売されますので、宝くじの感覚に近いといえます。もちろん一般席で、レースを観るのみで、舟券を買わなくても、入場を断られることは通常ありません。

### ◎「交通混雑が起きませんか？」

仮りに、進出する自治体が決まれば、事前に松江市の所轄警察署と綿密な打合せがなされます。駐車場、交通整理員の配置等を話し合われた上で許可が出されます。更に、地元の自治会その他の団体の代表から結成される協議会でも、運営上の諸問題が話し合われますので、過去の例では、地元の住民の苦情が、いつまでも放置された例はありません。

また、松江市の場合、現在ある「旧松江やよい駐車場」と「周辺の民間駐車場」を中心に使用します。レース終了も午後四時三〇分ごろですので、「松江やよい」の繁忙期の範囲程度の混雑と考えています。（駅通り南側の駐車場は、第二期工事と考へ、周辺事情を考慮して建設する予定です。）

### ◎「周辺地域が、ゴミ等で汚

れませんか？」  
開催日当日は、早朝から最終レース終了後まで、周辺地域を多数の清掃員が清掃いたします。過去、何ヶ所かの視察においても、そういう指摘は全くありません。むしろ、以前より、街がきれいになったとの指摘がなされます。